

筑波大学新聞

第258号

編集責任
筑波大学新聞
編集委員会
委員長 中村紀一

TEL: 029(853)2040-6699
E-mail: shinbun@sakura.cc.tsukuba.ac.jp
月刊

発行所
筑波大学
茨城県つくば市
天王台1-1-1

紙面から

- ゆりのき保育所 1日から運営開始
- 柔道 福見、無念の準優勝
- ハンド2年ぶり9度目のV
- 総合造形 独特の世界「快樂記念館」
- 静脈認証再運用へ向けテスト再開
- 世界遺産カルタ 好評を受け販売決定

特集 4
就活シーズン到来——
就職活動サポートします
おことわり
今月号は8面構成で発行しました

F D (教育) 委員会を設置

教育力の全学的強化へ

大学院にもWG設置など

全学で授業技術の向上と教育の質の保証を目指すためファカルティ・ディベロップメント(FD)委員会を設置することが決まった。11月16日に行われた第35回教育研究評議会で承認された。全学レベルでのFDは、これまで教育計画室や学群教育室の下部組織が中心となり取り組んできた。FDの重要性が高まる中で、独立した組織として設置した。同委員会では、FDが行われていなかった大学院も含め、ワーキンググループ(WG)の設置などを通じて教育改善と新任教員の研修に力を入れていく方針だ。

FD委員会は、学群、博士課程研究科、修士課程委員会で構成される。12月中旬に委員選出された教員などで構成される。12月中旬に委員選出された教員などで構成される。12月中旬に委員選出された教員などで構成される。

■ファカルティ・ディベロップメント 教員の研究、教育、地域貢献などにおける能力の維持、向上を図る取り組み。本学でも中期目標・中期計画の中で、教育改善の具体策として全部局で授業評価などのFDを実施し、教育研究の質的向上を図ることを掲げている。

FDのあり方については、全学学群・専門学群代表者会議(全代会)の教育課程専門委員会などから学生の意見も積極的に取り入れられていく方針だ。

教育問題について対話すべき相手が明確になればいい。FDの結果を受ける学生の視点を積極的に取り入れてもらいたいと語った。特に新任教員の教育システムについての理解不足が指摘されている。

FD委員会は、生命倫理や教育倫理といった共通の問題についてWGを立ち上げるという。

全学的な研修を行っている。しかし、法人化後は各組織に任せられるようになり、FD委員会の設置は、生命倫理や教育倫理といった共通の問題についてWGを立ち上げるという。

FD委員会が設置された背景には、本学の教育体系とその改善のためのシステムを冊子にまとめる「筑波スタンダード」の設定に伴う、教育体制の整備の必要性もあった。

筑波スタンダードは法人化前の03年に発表された中



つくば歳時記

つくばの冬をライトアップする「第2回つくば光の森」に12月2日、光が灯され、多くの人が訪れた。1月8日まで、毎日点灯する(つくばセンターで)

(本紙・関田航II体育専門学群)

授業料免除枠を拡大へ

格差解消へ向け国立大で

文科省方針

文部科学省は10月30日、安倍内閣の「再チャレンジ」支援策の一環として、国立大学の授業料免除適用枠の拡大を目指す方針を固めた。所得による教育格差の是正が狙い。来年度予算に對して追加要求し、来春入学からの適用を目指す。

国立大学の授業料は、私立大学の授業料と均衡を図ることを理由に、過去10年間で26.5%上昇した。これに對して、学生や保護者の家計を圧迫しているという指摘があった。国立大学法人化も授業料値上げの後押しし、本学でも昨年2月、授業料を一律1万5千円値上げしている。

文科省では①経済的理由により納付が困難な成績優秀者②学費負担者が死した、もしくは災害にあい納付が困難となった場合③6カ月以内、学費負担者が病気、失業などの理由で納付が困難となった場合④その他、文科省の予算要求の段階、文科省からの通達はない、実際に実施されるかも未定。具体化が進めば、なんらかの動きがあるかも知れないと語った。

文科省では①経済的理由により納付が困難な成績優秀者②学費負担者が死した、もしくは災害にあい納付が困難となった場合③6カ月以内、学費負担者が病気、失業などの理由で納付が困難となった場合④その他、文科省の予算要求の段階、文科省からの通達はない、実際に実施されるかも未定。具体化が進めば、なんらかの動きがあるかも知れないと語った。

文科省では①経済的理由により納付が困難な成績優秀者②学費負担者が死した、もしくは災害にあい納付が困難となった場合③6カ月以内、学費負担者が病気、失業などの理由で納付が困難となった場合④その他、文科省の予算要求の段階、文科省からの通達はない、実際に実施されるかも未定。具体化が進めば、なんらかの動きがあるかも知れないと語った。

文科省では①経済的理由により納付が困難な成績優秀者②学費負担者が死した、もしくは災害にあい納付が困難となった場合③6カ月以内、学費負担者が病気、失業などの理由で納付が困難となった場合④その他、文科省の予算要求の段階、文科省からの通達はない、実際に実施されるかも未定。具体化が進めば、なんらかの動きがあるかも知れないと語った。



記録へ向け一斉に駆け出した(総合研究棟D付近で)

つくばマラソン 記録に挑んだ1万1268人 史上最多、本学関係者も

第26回つくばマラソン(主催:筑波大学、つくば市、読売新聞社など)が11月26日、本学陸上競技場などをメイン会場にして開催された。今回は、史上最多参加者数を記録した昨年を249人上回る1万1268人が参加した。

参加者はフルマラソンと

抱負を語った。本学関係者の中で最高記録者は、附属図書館医学サービスの高橋雅一さん。2時間32分53秒で14位となった。

旧試験に4人が合格

平成18年度旧司法試験第2次試験合格者が11月9日、発表された。本学の合格者は49人、合格率は1.81%だった。

新司法試験合格者は9月

21日、発表された。本学法学大学院は修了年限を3年としており、出願は0だった。トップは中央大法学大学院の131人、続いて東大法学大学院120人となった。全体の合格率は48.25%だった。

古今和歌集に、藤原敏行の次のような和歌がある。「秋来ぬと目にはさやかに見えねども風の音にぞおどろかれぬる」。目には秋が来たとはっきり見えませんが、吹く風の音から秋が来たこと分かる、というのが大意だ。実家は四方を高い山に囲まれた東北の小都市だ。冬に入ると山が頂上から雪化粧を始め、山から吹き下ろされる風に雪の匂いが混じり、山の雪がふもとに届く頃に初雪が降る。紅葉が始まるのも、冬を知らせるのも、山だった。季節が目に「さやかに」見える地元からつくばに来た時、心配だったのが季節感だった。季節を伝える高い山も、雪もない地域での暮らしを考えると、少し寂しい気持ちになったものだった。つくばには、雪降る山はほとんど筑波山がある。本学の生命環境科学研究科の教員らが、今年1月1日から筑波山の気象観測ステーションで気象観測を行っている。環境教育に役立てるのが目的だ。筑波山はもともと1893年に中央気象台(当時)が冬季気象観測を開始した。気象観測に関しては歴史ある場所でもある。今年、つくば市では1月中旬に降雪があった。来年はいつ頃雪が降るだろうか。同ステーションで観測研究に携わっている林陽生教授(地環)に聞いてみると、「今年もセンター試験の頃に降るのでは」と言っていた。

ゆりのき保育所 1日から運営開始

子ども15人が入所 学生も天井や建具設計



保育所の中で遊ぶ子どもたち(ゆりのき保育所で)

教職員の子育て環境を改善しようと追越兵用棟にゆりのき保育所が開設された。一時保育6人を含む15人の子どもが入所した。建物の延べ床面積は606平方メートル、屋外遊技場は260平方メートル。12月1日から運営を開始した。保育日は月から土曜日まで、午前7時から午後9時の14時間、保育を行う。1日には開所式が行われた。開所式には、学内関係者のほか、つくば市の職員ら2人が参加した。式では、岩崎洋一学長によるあいさつと、桜の記念植樹や施設見学が行われた。

開所式に参加した鈴木君江(附属病院看護部長)は、考案していたより、ずっと素敵な保育所になったと話した。附属病院では、3年前、附属病院長に保育所の開設を要望を出し、準備を進めてきた。当初は看護師宿舎に設置する予定だったが、政府の男女共同参画を進める方針もあり、大学の教職員を対象にした保育所を設置することになったという。保育所の設置には学生も協力した。芸術専門学群が開講する「大学を開く——アート・デザイン・プロデュース」を受講している学生ら7人が、天井や建具などについて、施設部と協力し設計した。

メンバーの一人である山口麻理菜さん(芸専1年)は「壁につける木のシェルフ作りなど、昨日の朝まで作業をしていた。間に合ったよかった。今後も内装のデザインなどに関して協力していく」と話した。保育所を受託運営する「サクセスアカデミー」(本社：神奈川県藤沢市)の権連携事業の内容は、JICAの集団研修コースと本学は国際協力機構(JICA)と知識や実務の連携を図ろうと12月1日、JICA本部(東京・渋谷区)で連携協力協定を締結した。JICAと大学の協定締結は北海道大、広島大などに続き本学が4例目。本学の人材や、海外で行われた教育や研究の成果をJICAの国際協力業務に活用し、JICAの実践的経験を、本学の教育や研究に活用することを目的としている。

村秀子所長は「12月のクリスマス会や2月の豆まきなど行事には、学生にも協力してもらいたい」と話した。

JICAと協定を締結 実践経験を教育に活かす

学部の修士・博士課程における外国人留学生の受け入れや、学位取得が可能な研修員の受け入れ枠作りなどが盛り込まれた。JICAによる出前講義も実施する。JICAへの協力は05年まで、本学から330人を

青年海外協力隊として派遣している。これは全国でも5番目に多い。JICAも実践的経験をもった専門家が職員を講師として本学に14回派遣している。インタビューの受け入れなど、開発教育支援も行ってきた。今回の協定締結は、04年

「使いやすく、本学らしく」 ホームページリニューアル

「より使いやすく、より本学らしく」を目指して広報戦略室のワーキンググループが本学のホームページをリニューアルする計画を進めている。来年4月1日のリニューアルを目指し、シス情や芸術の教員がコンテンツやデザインの改良を行っている。ワーキンググループのメンバーは、金尚泰講師(芸術)と鈴木健嗣講師(シス情)。2人はこれまでも

の大学法人化に伴い、特色をもった国際戦略のための有力なパートナーが必要となったことが背景にある。岩崎洋一学長は「国際社会において知的貢献を果たしていくために、知的源泉として、大学に寄せられる期待に応えたい」と話した。

学長インタビュー

「教育・研究の充実に注力」

学長選考会議は10月13日、岩崎洋一学長の再任を決定した。任期は2年。中期目標・中期計画の達成に向け、今の正念場だ。(本紙・兵庫義夫 図書館情報専門)

学長選考会議は10月13日、岩崎洋一学長の再任を決定した。任期は2年。中期目標・中期計画の達成に向け、今の正念場だ。(本紙・兵庫義夫 図書館情報専門)

学長選考会議は10月13日、岩崎洋一学長の再任を決定した。任期は2年。中期目標・中期計画の達成に向け、今の正念場だ。(本紙・兵庫義夫 図書館情報専門)

学長選考会議は10月13日、岩崎洋一学長の再任を決定した。任期は2年。中期目標・中期計画の達成に向け、今の正念場だ。(本紙・兵庫義夫 図書館情報専門)

学長選考会議は10月13日、岩崎洋一学長の再任を決定した。任期は2年。中期目標・中期計画の達成に向け、今の正念場だ。(本紙・兵庫義夫 図書館情報専門)

「現場の声取り入れたい」

本学の教育組織を社会や高校生に分かりやすいものにする。学群・学類改組を行った。新たな学内交通システムを導入し、東京へのアクセスを含め利便性の向上を図った。

本学の教育組織を社会や高校生に分かりやすいものにする。学群・学類改組を行った。新たな学内交通システムを導入し、東京へのアクセスを含め利便性の向上を図った。

本学の教育組織を社会や高校生に分かりやすいものにする。学群・学類改組を行った。新たな学内交通システムを導入し、東京へのアクセスを含め利便性の向上を図った。

本学の教育組織を社会や高校生に分かりやすいものにする。学群・学類改組を行った。新たな学内交通システムを導入し、東京へのアクセスを含め利便性の向上を図った。

大学院再編

環境研究科を再編 生命環境科学研究科と統合

環境科学研究科は来年度から、生命環境科学研究科博士課程と統合し、前期課程環境科学専攻として再編される。後期課程には持続環境学専攻を新設する。同時に、5年一貫制専攻であった地球環境科学専攻と地球進化科学専攻も前期・後期制へ再編される。

環境科学研究科は来年度から、生命環境科学研究科博士課程と統合し、前期課程環境科学専攻として再編される。後期課程には持続環境学専攻を新設する。同時に、5年一貫制専攻であった地球環境科学専攻と地球進化科学専攻も前期・後期制へ再編される。

環境科学研究科は来年度から、生命環境科学研究科博士課程と統合し、前期課程環境科学専攻として再編される。後期課程には持続環境学専攻を新設する。同時に、5年一貫制専攻であった地球環境科学専攻と地球進化科学専攻も前期・後期制へ再編される。

留学生懇談会

留学生800人が参加

恒例の学長主催留学生懇談会が11月16日の午後5時から、第二学群食堂で開催された。今年は800人

恒例の学長主催留学生懇談会が11月16日の午後5時から、第二学群食堂で開催された。今年は800人



次期任期に向け目標を語る岩崎学長(学長室で)

就職活動サポートします

就活の時期がやってきた。何かと不安になりがちな就活では、誰かからのサポートがあると心強い。大学の機関である就職課・キャリア支援室と学生団体JEWELが、就活生にどのような支援を行っているかを紹介する。(本紙・丹野直美「人文学類」村上恵子「社会学類」)

就職課

志望別に講座開設

昨年、学内の各地区に、就職課の掲示板が設置された。この掲示板で就職課の活動に気付いた人も多かった。就職課は本部棟2階の入り口を入ってすぐのところにある。

就職課が開設している講座は、主に3年生を対象にした「企業・団体」「公務員」「教員」と、学生の志望別に分けられている。

企業・団体志望の学生に向けては、6～11月にかけて講演・業界研究などのガイダンスが行われる。10月から11月には、自己分析やエントリーシート、面接などの指導をする教養講座が開かれる(事前申し込みあり)。企業に就職したOBやOG、人事担当者が来学して行うOB・OG懇談会は、今年度は大会館で12月から1月にかけて行われ、300社以上が参加する大規模なものだ。

公務員志望の学生には、6月から各官庁の人事担当者来学して行う省庁ガイダンスと、12月に行われる国家一種や二種から地方上級、外務・国税専門官など多くの職種に合わせた、職種の公務員模擬試験(有



就職課に併設されている就職資料室。豊富な資料が揃う

料)がある。

教員志望者には、9月から3月にかけてガイダンスが開かれる。若狭会がバックアップし、現役の教員や公立高等学校校長などが各地域の試験の傾向を解説するという力を入れたものだ。教員採用試験は全国型と地方型がある。

その他には、「逆求人セミナー」というユニークな取り組みもある。主に理系の院生が対象で、院生が企業に自分の研究をプレゼンテーションするというもの。今年10月に行われた公立高等学校校長などが、複数の企業から引っ張りだこになった院生もいたという。

また、就職課では就活に関する相談や、エントリーシートの添削、模擬面接なども受け付けている。

キャリア支援室

生涯設計促す取り組み

キャリア支援室は、教員を中心として設立された。学生の生活面を全面的に支援する学生支援機構の一部門。本部棟2階入り口すぐ、就職課の隣だ。

就職課が「就職」に特に重点を置いているのに対して、キャリア支援室は人生設計の一環として、将来の基礎作りを中心としている。就職はその区切りという位置づけだ。今年度は「専門教育と融合した全学生へのキャリア支援」が文部科学省の現代GIPにも採択された。

昨年度から実践面では就職課と一体化しているが、キャリア支援室は主に低学年向けのイベントや、総合科目を開催している。

今年7月13日に、「女子学生のためのキャリアデザインセミナー」を開催した。将来計画設計のためのワークショップで、院生16人、学群生15人が参加し、就職活動の前段階の準備や心構え、情報の探索方法などを実践を通して学習した。「参加者からは学群、学類を超えた交流が刺激になったと好評だった」と、渡辺三枝子キャリア支援室長は話す。来年度は男子学生にも対象を広げることを

決定したこのシステムで就職情報提供システム(アドレスII http://svs.nokku.sec.tuskuiba.ac.jp)では、ガイダンスや模試の案内の他、メールにも、是非報告して欲しい(就職課・野本文雄課長と呼びかけている)。

また、就職課では就活に関する相談や、エントリーシートの添削、模擬面接なども受け付けている。

本学生の意識を高める

「自分たちが就活した経験を、後輩たちに伝えたい。01年、内定をもらった4年生を中心に、本学就職活動支援団体「JEWEL」が発足された。

JEWELは、主に月1回、2、30人の内定者を集めた講演会などのイベント企画をしている。所属人数は現在約30名。就活を終えた4年生が中心となり活動している。

先月15日に行ったイベント「体感型セミナー」では、人材コンサルティング会社

「自分たちが就活した経験を、後輩たちに伝えたい。01年、内定をもらった4年生を中心に、本学就職活動支援団体「JEWEL」が発足された。

JEWELは、主に月1回、2、30人の内定者を集めた講演会などのイベント企画をしている。所属人数は現在約30名。就活を終えた4年生が中心となり活動している。

先月15日に行ったイベント「体感型セミナー」では、人材コンサルティング会社

人事部長の人を講師に呼び、自己分析の意味や目的、ポイントなどを講義した。イベントには、108人の本学学生が参加。参加した学生には、今後のイベント情報などをメールで送るなど、その後の情報提供も行う。

今年6月から、予約制の「JEWEL CAFE」も始めた。参加定員は10人前後の少人数制。グループ・ディスカッションや模擬面接、内定者とのフリートークなどを行う。

今後、18日に午後6時半から午後8時まで、中央図

書のセミナー室で行う。定員は10人。JEWEL代表の原亮太さん(社工4年)(国総4年)は「自分の就活は、一人で悩んでいても前には進めない。少人数制をとることで、お互いに励ましあえる。同じく就活をする仲間を作ってもらいたい」と語る。

また内定者たちの「学生のうち、いろいろな業界との繋がりがほしい」という意見から「TNN(トーン)内定者・ネットワーク」を制作。イベントに協力して、内定者の連絡先をJEWELが控え、管理する。内定者懇談会を開くことも評価されている。本学生の良さをもっと引き出し、就職に対する本学生の意識を高めたいと語る。

就職内定先一覧

12月6日現在

就職課報告分

- 人文学類
 - 松下電器産業▽日清丸紅
 - 飼料▽日立ビルシステム▽新潟日報社▽京葉ガス▽学
 - 習研究社(6人)
- 社会学類
 - 商工組合中央金庫▽JT
 - B関東▽独立行政法人宇宙航空研究開発機構▽清水建設▽環境省▽東京税関(6人)
- 自然科学類
 - ジェーティービー▽経済産業省(2人)
- 比較文化学類
 - ウェッジ▽トイイン(2)
 - ▽ホンダコムテック▽メディアワークス(4人)
- 人間学類
 - ダイヤモンドリクス▽全日本空輸(ANA)▽シンカ▽社会福祉法人全国社会福祉協議会▽リクルートマ
 - ネジメントソリュションズ▽マスメディア▽ソフ
 - ト・オン・デマンド▽タリ
 - ースコーピー▽シャパン▽光▽ユニクロ▽スペースシ
 - ヤワーネットワーク▽三菱東京UFJ銀行▽大和証券
 - ▽八十二銀行▽千葉県公立中学校(13人)
- 生物学類
 - リクルート▽イオン(2)
- 日本語・日本文化学類
 - 日本中央競馬会▽協同宣
 - 伝▽シンコーミュージック
 - ク・エンタテイメント▽サ
 - ンケイリビング新聞社▽ヒ
 - ューマンネットワーク九大
 - 進学ゼミ▽二葉▽ジー・サ
 - 区役所(3人)
- 松本電器産業▽日清丸紅
- 女子学園(8人)
- 生物資源学類
 - ビテオリサーチコムハウ
 - ス▽霧島酒造▽森永乳業▽
 - 宇部マテリアルズ▽アリス
 - タライフサイエンス▽極東
 - 製薬工業▽日本医事新報
 - 社▽日研化学▽農林水産省
 - (9人)
- 社会工学類
 - シスコシステムズ▽日立
 - リビングサプライ▽グリー
 - ンホスピタルサプライ▽新
 - 光電気工業▽近畿日本ト
 - リスト(5人)
- 工学システム学類
 - 東海旅客鉄道▽リクル
 - トスタッフ▽インク▽九州大
 - 学医学部付属病院(3人)
- 国際総合学類
 - 日興シティーグループ証
 - 券▽東京三菱UFJ銀行▽
 - プロクター&ギャンブル
 - アーイストインク▽日本
 - 経済新聞社▽三井住友海上
 - 火災保険▽みずほ銀行▽リ
 - ードエックシジョンジャパ
 - ン▽三菱商業▽財団法人日
 - 本国際協力センター▽電通
 - (10人)
- 体育専門学群
 - ココスジャパン▽時事通
 - 信社▽日本経済広告社▽和
 - 洋国府台女子中学・高等学
 - 校(4人)
- 芸術専門学群
 - ヤマハリビングテック▽
 - 茨城県内中学校(2人)
 - 看護・医療科学類
 - 筑波記念病院▽医療法人
 - 橋会東住吉森本病院▽足立
 - 区役所(3人)
- システム情報工学研究科(前期)
 - 小松製作所▽日本光電工
 - 業▽日本ヒューレッドパッ
 - カード▽キヤノン▽ダイハ
 - ツ工業▽リコー▽プリンテ
 - ングシステムズ▽ウィルコ
 - ム▽東京証券取引所▽出光
 - 興産▽日本経済新聞社▽住
 - 友商事▽朝日新聞社▽アク
 - センチュア▽NNTデー
- 数理解論科学研究所(前期)
 - 三菱ガス化学▽テルモ
 - ▽不二越▽ローム▽日立
 - 化成工業▽東洋インキ製
 - 造(2)▽NNTデー
 - タ
- 数理解論科学研究所(前期)
 - 図書情報専門学群
 - 財団法人日本品質保証機
 - 構▽富士ゼロックス▽エンジ
 - ニアリング▽千葉県庁(3
 - 人)
- 地域研究科
 - 日本マニユアルセンター
 - ▽ワールド航空サービス
 - 京セラ▽楽天(4人)
- 教育研究科
 - 第一電子工業▽茨城県庁
 - ▽茨城県公立高等学校(3
 - 人)
- 環境科学研究所
 - 全日本空輸▽アーステク
 - ニカ▽INAX▽日本航空
 - ▽日本生活協同組合連合会
 - ▽大王製紙▽日立協和エン
 - ジニアリング(7人)
- 体育研究科
 - 早稲田中・高等学校▽攻
 - 茨城県公立高等学校(45
 - 人)
- 生命環境科学研究所(前期)
 - 月島食品工業株式会社
 - ▽ノバルティスファーマ
 - ▽千葉県公立学校(33人)
 - 人文社会科学研究所
 - 国立ソフンペン大学(カ
 - ンボジエ)(1人)
- 数理解論科学研究所
 - キヤノン化成▽東洋イ
 - ンキ製造▽アドバンスト
 - アルゴリズム&システム
 - ズ▽北興化学工業▽電気
 - 化学工業▽若狭学園中学
 - 校・高等学校(6人)
 - 生命環境科学研究所
 - 農林水産省(1人)

全日本学生選手権

女子2年ぶり9度目のV

1得点差の接戦制す

男子 延長戦で敗れベスト8



ハンドボールの学生日本選手権大会が11月16-20日、中村スポーツセンター(名古屋)をメイン会場に開催され、女子が...

決勝点をあげた高橋恵(写真提供:白井章さん)

2年ぶりの9回目の優勝を果した。3連覇がかかっていた男子はベスト8で敗退した。その30秒後には石立が相手のミスに速攻に持ち込み、キーパーのポジションを冷静に判断したループシュートを決めて同点とした。同28分、最後は中央から右へ流れるようなパスワークから、高橋が逆転ゴールを決め、試合は終了した。劇的な幕切れだった。

女子は決勝で、24-23の接戦の末、東京女子体育大を下した。開始早々、高橋恵(体専3年)の7メートルスローなどで4-0としペースを握ると、その後は一進一退の攻防が続く。14-10で前半を折り返した。後半は一転し東女体大ペースになった。本学はミスマッチに加え、東女体大の強引な突破を止めることができず、後半11分には6連続、同24分には5連続得点を許した。残り5分で20-23、3点差を追いかける展開となった。流れを変えたのは優秀選手をたたえた。

男子は準々決勝で、延長戦の末、34-38で早稲田大に敗れた。ロスタイムに同点ゴールを決め、延長戦に持ち込むも、延長前半を32-34、同後半を35-39で、惜敗した。個人賞は次の通り。

全日本学生選手権 女子、伏兵に敗れ3位

バスケット

大学バスケットボールの日本一を決める全日本学生バスケットボール選手権が11月19-26日、代々木競技場第一体育館(東京・渋谷区)で開催された。優勝候補とされていた本学女子は、昨年と同じ3位に終わった。男子は2回戦で慶応大に敗れた。



意地を見せた3位決定戦(代々木競技場で)

しかし24日の準決勝、本学は伏兵・桜花学園大につかまる。桜花学園大は開始直後からオフエンスリパウンドからの得点を重ねた。一方本学はミスが重なり、開始4分になって得点差が開いてしまった」と語り、近藤啓子主将(体専4年)は「1ピリオドを12-24で終えた。その後も流れは変わらず、中盤に5点差まで詰め寄るも73-98で敗退した。習日の大阪人間科学大との3位決定戦では、本学は前日の敗戦のショックをひきずり、第1ピリオドを14-13の僅差で終えた。しかし、徐々に落ち着きを取り戻し、83-66で勝利を納めた。

東亜大に初戦敗退

野球

神宮大会

大学野球日本一を決める、第37回明治神宮野球大会(主催:明治神宮・日本学生野球連盟)が11月12-15日にかけて開催された。10年ぶりの出場となった本学は初戦で一昨年の覇者・東亜大と対戦し、4-2で敗退した。試合は坪井俊樹(体専2年)と東亜大の田島誠による投手戦になった。試合が動いたのは6回裏だ。坪井は1死一塁から三塁を決められた。直後、適時左前打を打たれ、先制を許した。7回には、一死満塁から田島に走者一掃の適時二塁打を浴びて3失点した。坪井は7三振を奪う力投を見せたが、終盤に力尽きた。最終回のマウンドは武村修平(同4年)に譲った。本学は4-0で迎えた8回、2死一塁から代打・大橋孝彦(同4年)が2点本塁打を放ち、粘りを見せた。しかし、最後まで内外角を突く投球に翻弄された。9回を97球、散発4安打にとどまった。田島は完投勝利した。

Gボールの普及に努める

吉田望さん(体専4年)

「楽しいからやる、動きそのものを楽しむ」と吉田さんには、二つの強い願いがある。一つはGボールの世界大会を開催すること、もう一つはGボールを五輪種目にするのだ。そのために、今はGボールを世の中に広げたい。吉田さんの夢は、また始まったばかりだ。(本紙・関田航二体育専門学群)



「開き直って、自分らしいレースができた」という今大会は、自己最高の総合4位。自身の掲げていたユニバーシアード代表という目標を大きく上回った。「自分が納得できるような積極的なレースがしたい」と吉田。目標はアジア大会でのメダル獲得だ。

講道館杯

柔道

福見、無念の準優勝

伊部、平岡は3位入賞



力の差はないだけに、悔しい敗戦だった

国内各階級の頂点を争う講道館杯が11月18-19日にかけて、千葉ポートアリーナ(千葉市)で開催された。本学からは18人が出場し、

福見友子(体専3年)が準優勝、伊部尚子(同1年)と平岡拓晃(同4年)が3位入賞を果たした。48キロ級に出場した福見は決勝、「ポスト合」候補の1人、山岸絵美(三井住友海上)と対戦した。福見は投げ技を狙って山岸の袖をつかもうと、フェイントも混ぜつつ激しくつかみ合う。均衡したまま後半、上から山岸の奥襟をつかんで体が伸びたところを突き倒され、残り1分11秒で技あり。そのまま優勢負けした。今年、福見は今大会に照準を合わせて調整してきた。それだけに、「一番力を発揮したかったのに」と悔しがった。「12月の福岡国際ではベストを尽くしたい」と抱負を語った。同階級に出場した伊部は、準決勝で山岸と対戦し

た。山岸には2年前の全日本ジュニアで勝利したことがあったが「挑戦者の気持ちで戦った。開始直後は両者が激しく組み合い、拮抗していたが、残り1分で攻めこまれ、つり込み腰で有効。優勢負けした。」「決勝で福見先輩と対戦したかった。技のキレを磨きたい」と語った。

2日目、男子60キロ級に出場した平岡は準決勝で小川武志(了徳寺学園)と対戦した。開始45秒、平岡が小内刈りで効果を得る。その後双方は背負い投げを掛け合う。「途中で決勝を意識し、守りに入ってしまった」と平岡。残り13秒、小川の両手刈りで有効をもらい、逆転負けを喫した。同階級では日本代表の野

スピードスケート全日本選抜選手権

酒井が総合4位に



酒井智美

スケート

来年1月に中国の長春で開催される冬季アジア大会と今年12月にカナダで開催されるワールドカップの代表選考会を兼ねたスピードスケート・ショートトラックの全日本選抜選手権が11月11-12の両日、江戸川区スポーツランドで開催され、酒井智美(体専3年)が、

総合4位を獲得し、両大会の派遣選手に選ばれた。酒井は初日の11日、500mが4位、1500mが準決勝敗退だった。二日目の12日は、1000mが3位、3000mが4位で、総合4位となった。その結果、総合成績の上位4人が出場できる冬季アジア大会と、上位6人が出場できるワールドカップの出場権を得た。

非日常的な動きを楽しむ

吉田さんは3年前、ラートをやっていた高校時代の経験を生かし、A-C入試で本学に入学した。体操部に入学してGボールに出会ったが、初めのうちは、うまくいか



「楽しいからやる、動きそのものを楽しむ」と吉田さんには、二つの強い願いがある。一つはGボールの世界大会を開催すること、もう一つはGボールを五輪種目にするのだ。そのために、今はGボールを世の中に広げたい。吉田さんの夢は、また始まったばかりだ。(本紙・関田航二体育専門学群)

総合造形パフォーマンス

独特の世界「快樂記念館」

開学記念館に来場者200人
寒空の下、1時間半演じる

芸術専門学群の構成専攻「快樂記念館」と題した総合造形領域が開校して1年。パフォーマンスを披露する通年授業「展示造形・パフォーマンス」の受講生12人が11月17日、開学記念館で15の作品を午後6時半から約1時間半かけて上演した。当日は寒さが厳しく、厚手のコートを羽織る人が目立つ中、体を張ったパフォーマンスが会場を沸かせた。「水模様」では、上半身裸の男が突然屋根の上に登場し、持っていた水を撒き散らすと、照明装置と屋根を伝う水滴で光と水のアートが現れた。その他、スクール水着姿の緑色のシチュエーションを食べ続ける「ヘルシ」を指す人の不健康な精神など、総合造形の作り出す独特な世界観に、会場からは歓声や笑い声が上がった。



「無題」のか、相撲なのかを上演する学生

原点 GEN-TEN

私は今日、精神科の医師としてアルツハイマー病などの認知症を専門としています。野を志した動機、契機に絡めて学生時代の思い出を書けば良いのだというところがわかっています。ところがその頃は、良く言えばいろいろな人生や世間を浅く広く経験してしまっただけで、平たく言うと最低限の勉強以外は遊び呆けて

アルツハイマーへの挑戦
患者宅をつぶさに回る



朝田 隆

3、4年目でしょっか。その契機は、当時の山梨県で患者さんの治療をどうにかできないかと思いついたこと。今と違って当時はアルツハイマー病などは不治

一軒回らせてもらいました。亡くならぬ限り1年に一度だけお邪魔して、実際の生活ぶりを拝見しました。具体的には徘徊の様子や、失禁の後始末のお世話などを見た

あさだ たかし 1995年生まれ。人間総合科学研究科臨床医学系教授。東京医科歯科大学。山梨医科大学講師などを経て、01年より現職。専門は老年精神医学。

『猿夢』 夢とは何か

本学生が絵本出版



「猿夢」と池田さん。表紙には切り絵の猿の姿

夢を食べる動物、猿。その猿をテーマにした絵本「猿夢」(新風舎・初版500部)は、大学会館書籍部などで手に取ることが

出来る。初版は昨年8月25日。作者は、本学で環境デザインを学ぶ、池田有子(芸専4年)だ。

「猿夢」には、一匹の猿とカンガルーの親子が登場する。夢を主食とする猿は、ある日カンガルーの親子の不思議な会話を聞く。そのことが気になる猿は、翌日から夢の味が変化していき、おいしくなくなっ

は4年生を対象に毎週水曜2限に行っており、今学期は全て発表会の準備にあててきた。テーマは自由で、個人のやりたいことをもと

まう、という話だ。絵は全て切り絵で描かれている。3年前、夢について考えた池田さんが、新風舎えほん大賞に応募したのがきっかけだ。入賞は逃したが後日、「ストーリー」が気に入った。出版しないかという連絡を受け、販売化が決まったという。絵本の中は、猿の心境の変化とともに、背景の色が変化していくようになっている。池田さんが工夫した点の一つ

「答えは人それぞれで一つではないけど、夢というものがどんなものなのか、考える人が少ないような気がした」と池田さんは話す。この絵本には「夢とは何だろうか」というメッセージが込められている。デザインよりも、物語を重視し、大人の人に、夢について考えてほしいと考えている。

池田さんは、最近では、室内の緑のデザインに興味があり、将来は内装のデザイナーを目指す。

外来生物の影響を語る
お茶と軽食、穏やかな講演

くつろいだ雰囲気の中で講演が聴ける第7回バイオカフェが11月14日、第二学群棟喫茶部101で開催された。来場者は46人。バイオカフェでは小野道之助教授(生命産業)ら生命環境科学研究科の教員4人が中心となり、今年4月

から毎月、生物学の最先端の研究を紹介してきた。今回は、つくば市小野川にある国立環境研究所で、生物に危害を及ぼす化学物質や、外来生物の侵入による生態系への影響を研究している五箇公一氏を招き、クワガタが来た道、日本

人が来た道」と題して、輸入昆虫による生物多様性の問題について講演を行った。五箇氏は、飼育用に輸入されたクワガタの飼育放棄がもたらす影響を例に挙げ、「輸入した生物や植物を自然に放つと、元来の生態系が崩れる」と輸入に依存的な日本の産業に警鐘を鳴らした。

バイオカフェ

MC展
学生41人が出品
4メートルの大作も

芸術研究科美術専攻の学生41人が出品した第22回M展が、茨城県立つくば美術館(つくば市吾妻)で11月14日から19日まで開催された。6日間で1273人が訪れた。

展示作品は、日本画21点、洋画27点、版画11点の計59点。油彩を削り、立体感を出した作品や、縦4メートル、横4メートルにも及ぶ大作があり、来場者の目を引いた。

近藤 康史

悪魔の力
「権力」の自己目的化という甘い誘惑も避けねばならない。

権力が放つ甘い誘惑
職業としての政治

マックス・ヴェーバー著
力をもつて人間が人間を支配し、一定の秩序を実現することこそが「政治」であり、政治に関わることは、人々の運命を左右する力を獲得することでもある。政治の本質が権力である限り、職業としてそれに携わる者には、悪魔に乗っ取られないための倫理的な要求が課される。情熱的な「心情倫理」は必要だが、それだけでなく、結果を導き出す冷静な判断力も兼ね備えなければならぬ。この倫理的パラドックスに耐えながら、「権力」の自己目的化という甘い誘惑も避けねばならない。

高邁な理想を掲げて登場しながらも、結局は自己の利益を追求する。美さん(自然1年)は「授業でも生物多様性は勉強したが、リラックスして話を聞くと、違った魅力がある」と話した。次回は12月12日に総合交流会館で行う。

静脈認証システム

再運用へ向けテスト再開

トラブルの原因を分析

5カ月かけデータ採取



認証機に手をかざす小泉課長(施設部支関)

4月から運用を停止して...

11月26日には、メー...

施設部では来年度の再運...

データをデジコンに送って...

好評を受け販売決定

教育機関へ売り込みも

子どもたちに楽しみなが...

今回一般販売に踏み切った。今回...



今年夏ごろ出版社と提...

ちゃれんGボール 乗って弾んで、のびのび演技 3部門で動きを披露



オープン部門で優勝した、グリーンHOPトップチーム

本学発のGボールの全国...

二系新体制決まる

07年の文化系サークル連...

- 文サ連 竹下舞
芸サ連 長谷川一樹
体育会 小田頌子

地域防犯など訴える

学生や教職員の防犯意識...

財政支える健全な労働形態

先月のコラムでは、卒論中間発表の...



菊地 堯
従業員正社員化規...

MTGF

NHKアナウンサーが講演

在校生と卒業生の交流の場である第11回茗溪・筑波ランドフェスティバル(MTGF)が来年1月27日、大塚キャンパスと茗溪会館を会場に開催される。

冬休み宿舎

平砂浴場は29-7日に休業

冬季休業中の学生宿舎の食堂、売店、浴場の営業時間が変更される。

冬休み図書館

返却日は1月9-22日

附属図書館は12月27日から1月5日まで休館する。

演奏会のお知らせ

混声合唱団定期演奏会

混声合唱団の第31回定期演奏会が12月16日、つくばセンタービルホールで開催される。

20歳で気象予報士試験に合格

川口 純 さん (自然3年)



1D207教室で思い出を語る川口さん

気象衛星や、アメダスなどからの観測データを基に、天気を予想する気象予報士。毎年2回資格試験が行われ、合格率は約5%。合格者の平均年齢は35、6歳という。川口純さんは自然3年は今年1月、20歳で気象予報士試験に合格した。

宇宙の謎解明への第1歩

きつかけは純粋な面白さ

小学生のとき「なぜ、大気の薄い火星で砂嵐が起るのか。金星で起る、偏西風のような風は一体何なのか。スケールの大きな謎に引き込まれた」という。偶然

た。「小学生の時に読んだ本で、すでに知っている事ばかり。正直、退屈だった」と言う。川口さんは、岩手県立盛岡第一高校の出身。高校時代は、大学受験の勉強に時間を取られる日々が続いた。大学生になっただけで、好きなことができないと乗り切ってきた。余計に、大学の講義には物足りなさを感じた。

無絃塾卒業公演 土浦で

津軽三味線倶楽部無絃塾の第9回卒業公演が、来年1月28日、土浦市民会館で開催される。

次号は 2月5日(月) 発行予定です

大学会館書籍部ベストセラー

Table with 3 columns: Rank, Title, Author/Publisher. Lists top 10 best-selling books from the university library.

11月の1位は、東野圭吾の「手紙」。4位は森博嗣の「四季春」。天才科学者・真賀田四季の少女時代。彼女は5歳までに語学を、6歳で数学と物理をマスターし、一流のエンジニアになった。

筑波野生動物図鑑

コハクチョウ



ガンカモ目ガンカモ科の冬鳥。大学から南方向にある土浦市戸沼で撮影。越冬地では餌付けされるなど人に慣れていることが多い。大きめの水鳥で、白色若鳥は灰色をしており、家族単位で生活する。くちばしの黄色部先端の形が丸いのがオオハクチョウと異なる。飛び立つ時には水面や陸の上をバタバタと長めに助走し、群れは隊列を組んで飛翔する。(本紙・本多佳子(生資2年))

催事

演奏会

ロックフレンド同好会定期演奏会 2月10日午後1時半から、つくば市文化会館アルスホールで。

講演会

筑波大学落語研究会「討入寄席」 12月16日、第一学群D棟309教室。午後1時開演。午後1時半開演。

展覧会

第3回筑波大学大学院博士課程芸術学専攻作品展(DCC展) 12月26日から1月8日まで、つくば美術館で開催される。(ただし12月29日から1月1日は休館。開館時間は午前9時半から午後5時まで(最終日は午後4時閉館)。